

春の叙勲・褒章受章者

永年の努力と 功績が認められ

2006年春の叙勲・褒章で、市内から稲邊正さん（石越町・遠沢）が旭日小綬章、佐藤勝志さん（采山町・山吉田）、鈴木彦太さん（登米町・三日町）が旭日双光章、高橋幸さん（豊里町・上町）、宇壽山真子さん（迫町・本田）、高橋壽郎さん（南方町・平貝）、及川俊夫さん（迫町・倉崎）が瑞宝双光章、熊谷隆次さん（迫町・東表）が藍綬褒章を受章しました。



旭日小綬章
稲邊 正さん（石越町・70歳）



旭日双光章
佐藤 勝志さん（采山町・87歳）



瑞宝双光章
高橋 幸さん（豊里町・79歳）



瑞宝双光章
高橋 壽郎さん（南方町・76歳）



藍綬褒章
熊谷 隆次さん（迫町・62歳）



旭日双光章
鈴木 彦太さん（登米町・70歳）



瑞宝双光章
宇壽山真子さん（迫町・77歳）



瑞宝双光章
及川 俊夫さん（迫町・71歳）

昭和42年、石越町議会議員に当選。以来17年間在職し、昭和54年から6年間、議会議長として尽力。平成元年、石越町長に当選。以来4期16年間にわたり在職し、豊富な経験と卓抜した識見、指導力をもって公共福祉と地方自治の振興・発展に多大な貢献を果たしました。

昭和36年、米山町選挙管理委員会補充員。昭和43年には委員に就任。以来44年間選挙行政に貢献。昭和59年から委員長職務代理。平成8年からは委員長に就任し、明るく正しい選挙の推進と投票率の向上対策に尽力されました。平成14年には内閣総理大臣表彰を受賞されています。

昭和23年、豊里村消防団に入団。以来46年の消防歴。昭和52年に分団長、昭和61年には副団長。そして平成2年から4年余り、団長として地域の防災活動に尽力されました。昭和60年には消防庁長官から成績優秀により、永年勤続功労章を受賞されています。

昭和25年、南方村立南方小学校教諭として奉職。以来40年間児童の健全育成に努めました。昭和58年、津山町立横山小学校長、昭和62年、南方小学校長。その間県教育委員会指導主事班長。平成3年から11年間南方町教育長を務め、学校・幼児・社会教育振興に尽力されました。

昭和42年、迫町消防団に入団。以来38年の消防歴。平成4年に副分団長、平成6年から分団長として団や分団の運営などに貢献しており、地域防災活動に努めています。平成15年には消防庁長官から成績優秀により、永年勤続功労章を受賞されています。

全国広報コンクール 「広報とめ」が （市部）で2席に入選

自治体の広報紙などを対象とした平成18年全国広報コンクール（日本広報協会主催、内閣府・総務省・読売新聞社後援）の審査結果が発表され、「広報とめ」17年12月号）が広報紙（市部）で3位に当たる2席に入選しました。入選した広報紙はA4判44ページのもの。このうち特集の「九つがひとつ」では、旧町域でそれぞれ力を注いできた農業や教育、祭りなどが、合则により大きな力になったことを「人」をキーワードで紹介しました。広報紙は市民皆さんからの情報があつて作られます。忙しい中、快く取材に応じていただいた皆さん、原稿や情報を寄せていただいた皆さん、広報紙作成に携わった関係者全員に感謝いたします。今後皆さんから親しまれる広報紙作成に努めていきます。コンクールの表彰式は、9月に岡山県で開催される全国広報広聴研究大会で行われます。

空想が広がる 力作がズラリ

登米市民ふれあい美術展 「登展」



市民55人による78作品が展示された登展

第2回登米市民ふれあい美術展「登展」（登展実行委員会、助登米文化振興財団主催）が5月2日から7日までの6日間、登米祝祭劇場小ホールで開催されました。美術展は、登米市誕生を記

念して昨年からお開催。2回目にして「登展」の愛称で親しまれています。20代から80代まで幅広い年齢層の市民55人が水彩・油彩・水墨画など、78作品を出展しました。2日に開かれたオープニングセレモニーには、実行委員や市文化協会員ら20人が参加。関係者によるテープカットが行われ、一般の人たちが入場しました。佐々木金男実行委員長（中田町）は「これまで、登米管内で開催していながら美術展を合併して昨年からは実施したところ、多くの皆さんから出展していただいています。今後も人の心を動かせるような美術展を目指していきたい」と話していました。



実行委員らによるオープニングセレモニー